

ザ・パートナーズ

創業支援など事業活発に

本社で新体制の陣営報告

東三河を中心に、不動産、税理士、社会保険労務士、建築家、ITプロ、土地家屋調査士の6人の経営者・専門家らで3年半前に発足した総合コンサルタントチーム「ザ・パートナーズ」のメンバー6人が20日、東愛知新聞

本社を訪れ、「創業支援」「ザ・パートナーズ」など活発に行いたい」と新体制の陣営報告と抱負を語った。

「各専門分野の知識や人脈を生かし、創業希望者が気軽に相談できる『駆け込み寺』のような存在」を目指して06年10月に結成した

地元金融機関出身の大木一男さんを支援アドバイザーに、電話や専用ホームページ、Eメールなどからの相談依頼に応じていた。

業意欲が薄れ、貸し渋り対策や資金調達などの相談が多かったが、4月から新体制で、創業支援など事業の活性化を目指す。

新体制は、代表＝夏目学(一級建築士、夏目デザイン代表取締役)▽副代表＝清水貴裕(都デザイン代表取締役)▽幹事＝山本知史(土地家屋調査士)▽経理＝田中靖直(税理士)▽広報・書記＝金野真(社会保険労務士)▽相談者のフォロ

ー担当＝加藤智己(不動産)ーの各氏で、引き続き、大木氏が支援アドバイザー。

田中前代表からバトンタッチした夏目新代表は「異業種交流や情報交換の機能を活発にしたい。月に1回のミーティング、2カ月に1回の交流会を豊橋サイエンスコアで開き、創業したい人のほか、創業後3年位で、まだ困っている人も支援したい」と話した。

リーマン・ショックなどで近年、創業・開

問い合わせは、同事務局(豊橋サイエンスコア内、0532・48



・5982)へ。

(杉浦文夫)

来社した「ザ・パートナーズ」のメンバー(前列中央が夏目代表)＝東愛知新聞社で